

東京都議会議員選挙(目黒区選挙区) 選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

PROFILE

▷1995年生まれ、25才。▷2016年、高校新聞編集長として都教委の「強制ボランティア」問題、生徒会会則非公開問題を追及し、検閲を受ける。▷2017年東京都立新宿山吹高校卒▷2019年ニュースサイト「インタースクールジャーナル」を創刊し、生徒の立場から教育問題を報じる。2019年8月27日の会見で青山文科相(当時)の「ヤジは権利として保障されない」発言を引き出し、大学入試改革前線の引き金を引いた。▷2019年～20年学生団体トップとして都立高校での思いの中でフルをやめさせるよう都教育委員会に要請し、再発防止を約束させた。

子どもの命・自由・人権を守る

「当たり前」副校長を免職に 生徒の「表現の自由」を守る

昨年7月、目黒区立第九中学校副校長が、思いの中でフルの授業を批判するチラシを配っていただけの高校生を追いかけました。本人逮捕する事件がありました。授業改善を訴える高校生の意見表明権を奪うような副校長を教育現場に置き続けるわけにはいきません。都教委に副校長の懲戒免職を要求します。

ブラック校則を即刻廃止 人権侵害やめさせる

下着の色を白色に指定するとか、地毛が茶髪でも黒染めを強要するとか、子どもの人権を踏みにじるブラック校則・指導の問題が明らかになっています。私は学校で困っている生徒の声を聞いて、個別の学校の問題にも取り組み、子どもの自由と人権を取り戻します。

◎大人の利権より子どもの日常を オリンピックは絶対中止!

◎都教委の子ども動員体制にNO! 子どもの命が最優先!

◎登校選択制の実現! オンライン双方向授業配信で学びの保障を

◎飲食店いじめより根本的なコロナ対策と手厚い備前の実現

◎都民1人1人の声を都政にぶつけ、記者の視点で徹底追及!



無所属
平松けんじ
25才

人と人が
安心して
ふれ合える
暮らしを

ワクチン接種 秋までに 目黒区の希望者全員へ

家族や友人と食事に出かける、帰省して祖父母や孫と会う、コンサートや、映画・カラオケなどを楽しむ等、私達の日常生活の楽しみを一日も早く取り戻すため、ワクチン接種を加速させコロナ禍を克服し、経済再生に全力を尽くします。

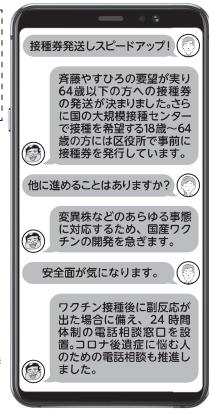
ワクチン実績ナンバー1

- ◆区政とのネットワークで接種会場を大幅に拡大
- ◆移動困難な要介護認定の高齢者らにタクシー代支給
- ◆東京23区で最も早いコールセンターを開設
- ◆LINEを活用し予約の最新情報が届く仕組みを構築
- ◆区有施設で接種後 その場で2回目の予約を可能に

これらも実現!

- ◆30%のプレミアム付き商品券 今年も発行
- ◆特別定額給付金 対象外の赤ちゃんに10万円商品券
- ◆民有地を活用し保育所が倍増 待機児童ゼロ達成
- ◆議員報酬20%削減「身を切る改革」今年度も断行

Profile 目黒区立第九中学校、明治大学付属中野高校、慶応義塾大学卒、元国土交通大臣秘書官、都議会SDGs推進委員会事務局長、都議3期。



ワクチン接種後の副反応が出た場合に備え、24時間体制の電話相談窓口を設置。コロナ後遺症に悩む人のための電話相談も推進しました。



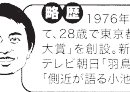
さいとう
斉藤ひやろ
37歳
公明党公認

第1位
予算委員会
質問回数

第1位
議員提案条例
実現回数

小池知事に 進言できる議員

目黒の安心 未来の約束	コロナ対策 提案と実現	改革の成果 3つの実現
<ul style="list-style-type: none"> ① 目黒川・呑川の豪雨対策に調節池 ② 緑の森公園に災害拠点カフェ ③ 全ての避難所に非常用電源の設置 ④ ウェルビーイング推進員パトロールに番号表示 ⑤ 塾代支援で子どもたちの教育格差解消 ⑥ 公立学校区内で受験対策できる教室 	<ul style="list-style-type: none"> ① 目黒区・呑川の豪雨対策に調節池 ② 緑の森公園に災害拠点カフェ ③ 全ての避難所に非常用電源の設置 ④ ウェルビーイング推進員パトロールに番号表示 ⑤ 塾代支援で子どもたちの教育格差解消 ⑥ 公立学校区内で受験対策できる教室 	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ対策条例例など ② 議員報酬2割カット案 ③ 議員公用車7割カット案 ④ 都外団体168億円 ⑤ 都への返還を実現 ⑥ 都立病院のコロナ重点拠点化 ⑦ 変異株対策の入院禁止措置 ⑧ ワクチン集団接種会場の提供 ⑨ 保健師確保で保健所機能の強化へ ⑩ 東京版ニューディールで雇用創出 ⑪ 飲食店・関連産業への支援強化



都民ファーストの会公認
伊藤ゆう
44歳

立憲民主党

私のもめざす東京
子どもの権利条約に基づく
子育て・子育て支援

〇持続可能性を前提としたまちづくり
〇SOSを出せない人に届く福祉
〇ジェンダー平等・多様性を誇りと魅力に
〇コロナ対策に全力を

正確なワクチン情報、迅速・安心な接種
積極的なPCR検査で、感染を断ち切る

東京五輪は
延期か中止に!
コロナ対策に予算と人材の集中を。

汚職・裏金・買収まみれの
自民党政権を変えるため、
あなたと一緒に闘います。

立憲民主党 副代表 **ながつま昭**
立憲民主党 幹事長代理 **手塚よしお**



立憲民主党
西崎つばさ
37歳

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 7月4日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)～7月3日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できます

投票用紙の請求期限 6月30日(水) 午後5時まで

投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページで

ご確認ください。お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内: <https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>

東京都議会議員選挙(目黒区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

都民・区民の生活を守る

現状の課題に真摯に取り組み、未来の東京・目黒に責任を持つ!!

減税で経済を再生する コロナ収束までは減税を!

個人都民税を20%減税し、家計に余裕を

事業所税を50%減税し、企業に更なる活力を

都内事業者の設備投資への支援を実施

都政で実現すべきこと

- 1 1日も早くコロナ感染症収束へ。生活・経済の再生を加速します!
- 2 災害から都民の命と生活を守ります!
- 3 次世代型の教育で、子供たちの可能性を広げます!
- 4 お年寄りが活躍できる健康長寿社会を実現します!

<略歴> ◆1969年(昭和44年) 目黒区自由が丘生まれ ◆宮助小卒・第十中学・文芸社進学・関西学院大学
 ◆日通商事(株)勤務・元国務大臣秘書官補佐 ◆2003年 目黒区議会議員(3期/10年) ◆2011年 目黒区議会議員
 (区議会最年少) ◆2013年 東京都議会議員(1期) ◆2017年 東京都議会議員選挙次点にて落選

www.kuriyama-yoshiji.com/



自由民主党公認 栗山よしじ

自民党 目黒を守り 東京を進める

- 唯一の候補者!
- 1 コロナ対策最優先
 - ◎スムーズなワクチン接種
 - ◎事業継続と雇用を守る
 - ◎コロナに負けないためくろくづくり
 - 2 人生100年応援
 - ◎生涯現役を目指すまち
 - ◎家族と一緒に介護の充実
 - ◎フレイル予防で元気なめぐる
 - 3 子どもの夢をかなえる東京
 - ◎保育・学童のバリエーション
 - ◎グローバル人材の育成
 - ◎子育てに切れ目ないめぐる
 - 4 デジタル化社会推進
 - ◎DX・5Gでスマートめぐる
 - ◎誰もとり残さないデジタル社会実現
 - ◎ICT教育の推進
 - 5 都民を守るまちづくり
 - ◎全ての災害に強いまち
 - ◎目指せ治安ナンバー1
 - ◎強靱化で安全なめぐる
 - 6 命を守る
 - ◎救急分岐
 - ◎自殺総合対策の強化
 - ◎コロナ禍の孤立を防ぐ
 - ◎コロナ後感染症対策の強化



鈴木隆道

すぎたかみち

慶應義塾大学経済学部卒 目黒区交通連盟 名誉顧問 目黒区交通連盟 顧問
 元運輸大臣小坂徳三郎 秘書 目黒区ラグビー協会 副会長 目黒区ラグビー協会 名誉顧問
 目黒区議員(20年・議長) 目黒区サッカー協会 名誉顧問 東京目黒区ミニバレー協会 顧問
 東京都議員(12年) 日本ネットリスト協会 アドバイザー 東京ローメンション 名誉顧問

推薦
 目黒区長 河野太郎 推薦副都知 若宮けんじ 目黒区長 青木英二
 区議会議員 松本文明 区議会議員 岡田一弥

しっかりしろよ自民党! だけどやっぱり自民党!!

選挙管理委員会が実施する

新型コロナウイルス感染症対策

- 投票所・期日前投票所にはアルコール消毒液を配置
- 投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用
- 投票所内は扉や窓の常時開放、または定期的な換気
- 記載台、鉛筆等不特定多数の方が触れる箇所は定期的に消毒

有権者の皆様へのお願い

- マスク着用や咳エチケット、来場前・帰宅後の手洗い等
- 周囲の方との距離の確保

住民によりそい、生活相談1500件ののち・くらしが最優先

区民の声で、オリンピック観戦に目黒区の子どもたちを動員する計画が中止に!!

五輪は中止し、コロナ収束へ全力を

- 希望者全員への安全・迅速なワクチン接種
- 影響を受けている事業者や医療機関への補償
- 大規模なPCR検査と変異株の検査体制拡充
- 都立広尾・公社荏原病院を守り拡充

あきらめませんー2期目の公約

- 1 学校給食の無償化
- 2 高すぎる国民健康保険料の引き下げ
- 3 高齢者の補聴器購入補助の新設
- 4 羽田空港の都心低空飛行の中止
- 5 痴漢ゼロ、パートナーシップ制度実現

動物との共生をめざす

プロフィール
 ◆1957年北海道釧路市生まれ。北海道教育大学卒。東京で月産産務施設に就職。日本共産党の勤務を経て2007年から目黒区議会議員(3期10年)、2017年に都議会議員、都議会文教委員会委員長、住宅審議会委員など歴任。●趣味は音楽、SF小説、動物が大好き。



ほしみ 星見てい子

日本共産党

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 7月4日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)~7月3日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できます

投票用紙の請求期限 6月30日(水) 午後5時まで

投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページでご確認いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内: <https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>